

山口大学教員公募

1. 公募人員 テニユアトラック助教 1名
2. 所属 共同獣医学部 獣医学科 生体機能学講座
3. 担当研究分野 獣医解剖学分野
4. 担当教育分野 獣医解剖学および獣医組織学
5. 担当科目 獣医解剖学および獣医組織学に関する実習
6. 任期
 - ・テニユアトラック制：任期5年。着任後3ヶ月以内に評価基準を設定し、着任後の研究・教育実績評価に基づいて3年以内に中間評価、任期(5年)が終了する約6ヶ月前までにテニユア審査を行い、その審査結果により任期なしの雇用形態に移行することができます。
 - ・テニユア審査は、研究業績、外部資金の獲得状況、国際的コラボレーション状況、学会等の活動並びに受賞歴、教育業績、社会貢献等により総合的に審査します。
 - ・5年目の審査でテニユア付与が見送られた場合は、転出等の準備のために最大2年間任期を延長することができます。
7. 応募資格
 - ・博士の学位を有する(1年以内に取得見込みを含む)
 - ・哺乳動物または鳥類(モデル動物、家畜・家禽、野生動物を含む)に関する生命科学領域において高い研究能力を持つ方
 - ・40歳未満(※)の若手研究者であること。
 - ・大学院生および学部学生の教育・研究指導に熱意をもって行える方
 - ・獣医解剖学および獣医組織学に関する教育を補助し、実習の一部を担当できる方

注) 学部内助教採用基準：

 - (1) 博士の学位を取得していること(1年以内に取得見込みを含む)。
 - (2) 著書または学術論文を2編以上有し、内2編は筆頭著者であること。

※文部科学省の施策である「国立大学法人等人事給与マネジメント改革」を活用するため、雇用対策法施行規則第1条の3第1項第3号ニに該当するものとして実施します。
8. 待遇 給与等雇用条件は、本学の規定による。
9. 着任予定日 令和2年4月1日(予定)
10. 応募締切 令和元年12月25日(水)(必着)
11. 提出書類
 - (1) 履歴書(様式有り) 1部
 - (2) 研究業績(様式有り) 1部
 - (3) 論文の別冊等 2部

(原則として実物を綴じたもの。ただし、電子ジャーナル等はプリント可。著書については著者名、発表年、著書名(分担執筆の場合はその題目)、頁、出版社名が記載されているページのみをプリントしたものでも可。上記(2)の研究業績に記載の通し番号に合わせて、各論文・各著書の右肩に番号を付けること)

 - (4) 現在までの研究概要と今後の抱負について 各1部(それぞれ1,000字程度)
 - (5) 推薦者がある場合には推薦書 1部

12. 選考方法 提出書類による書類選考と委員のピアレビューによる評価を行い、面接により総合的に選考を行います。選考により選出された候補者には、本学共同獣医学部においてセミナーを行っていただきます。本審査に関する日程は別途調整いたしますが、旅費等は「自己負担」となっておりますので、ご承知おきます。

13. 応募者は事前に所定の様式に従った応募書類を下記宛に請求すること。

〒753-8515 山口市吉田1677-1
山口大学共同獣医学部総務企画係
TEL: 083-933-5943 FAX: 083-933-5820
e-mail: ve102@yamaguchi-u.ac.jp

14. 応募書類送付先 〒753-8515 山口市吉田1677-1

山口大学共同獣医学部長 佐藤 晃一

*封筒に「助教（テニュアトラック）応募書類在中」と朱書のうえ、「簡易書留」で郵送してください。なお、応募書類は返却致しません。

*提出書類により取得する個人情報、採用者の選考及び任用等の手続きを行う目的で利用するものであり、この目的以外で利用及び提供することはありません。

15. 問い合わせ先 〒753-8515 山口市吉田1677-1

山口大学共同獣医学部

採用審査委員会委員長 日下部 健

TEL&FAX:083-933-5882

e-mail: kusakabe@yamaguchi-u.ac.jp

16. 備考

山口大学は、男女共同参画を推進しており、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績（研究業績、教育業績、社会的貢献業績）および人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。

本学では、子育てや介護等によるライフイベントと仕事の両立支援を積極的に行っており、吉田キャンパス内での長期休暇中の学童保育の実施や、病児保育を利用した際の助成制度、研究補助員制度、研究活動復帰支援制度、介護支援制度などを整備しております。

また、テニュア付与に向けて、以下の体制を充実させております。

(1) メンター教員2名の配置

(2) スタートアップ資金の措置

(初年度に200万円、次年度に150万円、3~4年目に100万円程度の計550万円を上限)

(3) 教育研究環境の整備

共同獣医学部供用機器（透過型電子顕微鏡、共焦点顕微鏡、リアルタイムPCR、フローサイトメトリーなど）の利用

学内の共有機器については、機器運用統括センター (<http://kenkyu.yamaguchi-u.ac.jp/kikikatu/index.html>) のサイトからご確認ください。

山口大学図書館の電子ジャーナルについては、山口大学電子資料ポータル (<http://sfx2.usaco.co.jp/yamaguchi/az/>) のサイトをご覧ください。

(4) URA による外部資金獲得支援制度があります。

(5) 新年俸制導入後は、年俸制へ切り替えることもあります。

山口大学はワークライフバランスを支援しています！

山口大学では、大学の構成員（学生・教員・職員）のダイバーシティ（多様性）を積極的に高め、同時に各自の個性と能力が最大限に発揮できるような労働環境の整備に取り組んでいます。そのために、ダイバーシティ推進室ではジェンダーバランスの促進をはじめ、ワークライフバランスのための様々な取組を進めています。詳しくはホームページでも紹介しておりますので、ご覧ください。

<http://www.yamaguchi-u.ac.jp/diversity.html>

研究についての支援

研究補助員 制度

ライフイベントを抱える本学の女性教員または配偶者が大学等の研究者である男性教員を対象に、学部生や大学院生を研究補助員として配置することが可能です。

研究活動 復帰支援制度

ライフイベントによる休業等から復帰後1年以内の本学の女性教員または配偶者が大学等の研究者である男性教員を対象に、研究活動にかかる経費の一部を助成します。

女性研究者 メンター制度

学内において、主に新任の女性教員等を対象に、教育・研究上や大学生活上のさまざまな疑問や悩みを相談できる教員（メンター）とのマッチングを行います。

留学生 サポーター 制度

語学力で研究活動のサポートを目的として、英語・中国語・韓国語を母国語とする留学生を紹介し、母国語を用いた研究活動の補助業務のためにサポーターとして配置することができます。

子育てや介護についての支援

学童保育 ヤマミイ学級 (吉田キャンパス)

小学校の夏・冬・春休みの間、教職員・学生のお子様を預かる学内学童保育「ヤマミイ学級」を運営しています。教員や学生による大学ならではの多彩なプログラムも提供しています。

たんぽぽ保育園 (小串キャンパス)

医学部や附属病院の職員を対象として、安心して働けるよう学内保育園を整備しています。

基本保育90名
病後児保育3名

企業主導型 保育所

地域の企業主導型保育施設（3施設）と利用契約を締結し、保育サービスを利用することができます。

病児保育施設等 利用助成制度

教職員（共済または社会保険加入者かつ配偶者がいる場合には配偶者が就業中の方）のお子様有病児保育施設を利用した場合に、利用料の一部を助成します。事前登録制です。

学内託児 スペース貸出

教職員がお子様の保育のために利用できる託児スペースを学内で貸し出しています。保育者は利用者が自費で用意します。保育者については、ダイバーシティ推進室が紹介することもできます。

遠距離介護支援

法人契約を締結している支援団体の提供するサービスを受けることができます。

【相談】
介護に関するあらゆる相談についてメール・電話・面談にてお受けします。

【代行業務】
離れて暮らす御両親のお世話等を専門職が代行し、支援します。

カウンセリング 相談制度

本学の教職員等を対象に、臨床心理士の専任カウンセラーが、家庭生活を含むあらゆるご相談やリフレッシュに対応します。

月曜日 9:00-17:00
水曜日 9:00-17:00



検索

山口大学 ダイバーシティ